記入のしかた

① 計画の同意と基本情報の記入

海津市避難行動要支援者名簿登録台帳兼個別避難計画(記載例)

私は、海津市避難行動要支援を	6名簿への登録を申請します。							
☑ 個別避難計画の作成に同意します。ご自身で作成される場合は、最後まで記入して提出ください。								
✓ どを受けるために必要な	固人情報を、海津市地域防災計画に	定める	避難	支援等	関係す	者(民生委		
員児童委員、自治会長・自	主防災組織、社会福祉協議会、警察	署、汽	肖防本	部等市	関係	課) 及び避		
難支援者、居宅介護	&支援事業所へ提供することに同意	します	0	人	是出の	日付		
「個別避難計画の作成」および「避難支援等関係者 への情報提供」の同意にチェックします 令和6 年 8 月				月	8 日			
海津市長宛て	要支援者本人氏名	海	津	市	郎			
本人の署名をします (代理人の場合は代理署名)	代理署名者	海	津	市	葉			
	(本人との関係	子)		

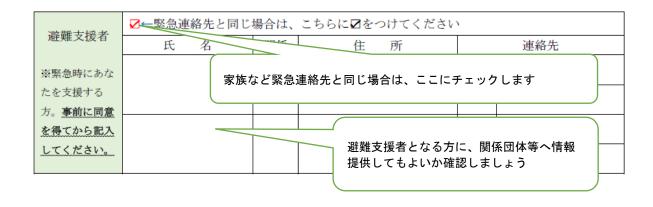
ふりがな	かいづ いちろう		生年				自認		
本人氏名	海津市郎		月日	昭和224	年6月22	日	性別	男	
住 所	〒503-0654 海津市海津町高須517番地			_	自治会名	高須	Į		
電話番号	53-0000	携帯電	携帯電話番号 080-000-000						
FAX	53-0000	メール	ールアドレス kaizu-ichiro@xxxx.ne.jp						
世帯状況	□ひとり暮らし □家族全員が75歳以上 □本人以外にも要支援者が居る								
EIII	昼間帯の本人以外の在宅者数:平日(0)人、土曜(1)人、日祝日(1)人								
	名前 続柄		連絡先				備考		
	海津 市葉	子	090-0000-0000						
同居家族									
	住宅の種類		お住まいの間取り (別紙添付も可)						
住居の状況	☑一戸建て(2□集合住宅(居住	PEXE/	※玄関、普段いる部屋、寝室の配置が分かるように記載して ください。					に記載して	
家の中で 過ごす場所	・寝室の場所	奥 側			普段過ご わかるよう さい				

利用中の 福祉・介護 関係事業所	●●介護事業センター			電話 5 4 - 0 0 0 0			
			電話				
医療関係情報	かかりつけ医療機関・電話番号	既往歴または治療中の	傷病名	携行する医薬品			
	●●医院	高血圧		•••			
	0584-54-0000						
(欄が不足する	△△市民病院			000			
場合は別紙)	0584-78-0000						
	□透析 □吸引器 □人工呼吸器 □酸素療法 □ペースメーカー						
□その他 (現在行っている医療行為等を記入してください							

② 避難時や避難所において配慮してほしいことなどを記入

	食 事 ☑─人でできる □見守りが必要 □全介助 □通常食 □刻み食 □流動食 □経管栄養					
避難時や避難	移 動 □自立 □杖が必要 ☑車椅子(自走→☑可 □不可)□介添者が必要					
所において 必要とする	排 泄 ☑自立 □おむつ使用 □ストマ(尿、便) □介添者が必要					
支援・配慮	アレルギー ☑無 □有()				
	□書いてある文字やまわりのものが見えない(見えにくい)					
該当する項目	□言葉や文字の意味を理解できない(理解が難しい) ☑周囲の音が聞こえない(聞き取りにくい)					
すべてに ☑ を つけてくださ						
い。	どうすれば良い→☑補聴器 □筆談 □その他()				
	□自分で意思を決定することや、意思の伝え方について支援や配慮が必要					
	□筆談 □「はい・いいえ」や単語のみできる □文字盤 □全くできない					
その他の配慮	配慮してほしいことや知ってもらいたいことを記載してく (持病や薬のことなど)	ださい				

③ 避難の時に支援してもらえる人(以下、避難支援者という)の確認



「避難支援者」について

〇避難支援者は、要支援者への避難情報の伝達や近隣住民等への手助けの支援を行っていただく方です。 (法的責任や義務はありません)

(支援内容の例:可能な範囲での安否確認、避難誘導、「高齢者等避難発 令」時の声掛け、近隣住民等への手助け依頼、平常時か らの避難訓練の実施等)

〇避難支援者に対して、災害時に要支援者を必ず避難所まで連れていくこと を義務付けるものではありません。

また、避難支援者も被災者となることが想定されるため、まず、自分と家族の安全を確保した後、可能な範囲での支援の実施をお願いします。

「避難支援者」の選定

- 〇避難支援者の選定にあたっては、まず、本人と本人の状態や配慮すべき事項を一番把握されていると思われる、家族(同居、別居含む)や親族の選定を検討します。
- 〇親族が近くにいない場合は、近隣の方や、自治会、自主防災組織等が考え られます。

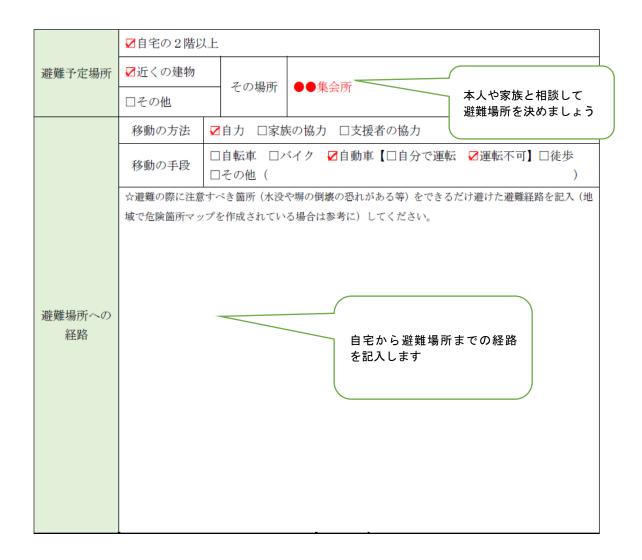
本人や家族等から普段のお付き合いの中で、避難支援者となっていただけ そうな方を聞き取っていただいた後、避難支援者となる候補の方へ趣旨を 説明し、同意を得てください。なお、常に要支援者に関わっているが避難 支援者として対応が可能な場合は、その旨を記載します。

避難支援者が選定できない場合

〇避難支援者を選定することで、避難の円滑化や避難行動への支援の可能性 が高まることが期待できますが、日頃から近隣との付き合いがない場合や 支援者が近くにいない場合等においては、選定できない場合も考えられま す。

避難支援者が決まらない場合も登録できますが、引き続き、協力していた だける支援者の検討をお願いします。

④ 避難場所・避難経路の記入



- 〇災害時にどのような避難行動をとるか、本人または家族等の意向を聞きながら、本人の状況に応じて検討します。
- 〇自宅外への避難が必要な場合、安全な場所にある親族宅や知人宅への避難 も含めて検討しましょう。また、地域での取り決めがある場合は、それら も参考に検討を進めることも大切です。
- 〇避難は指定避難所へ行くことだけではありません。本人の医療的ケアの必要性や、長距離の搬送が困難な場合は、自宅内での垂直避難も有効な避難になります。在宅避難とする場合は、災害時に備えて備蓄しておく物資についてあらかじめ確認しておくと災害時の安心につながります。